

# Heb

## Chapter 12

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

- 1 Τοιγαροῦν καὶ ἡμεῖς, τοσοῦτον ἔχοντες περικείμενον ἡμῖν νέφος  
それゆえ また 私たちも これほどの 持っている 取り-囲んでいる 私たちを 雲のような  
[G5105](#) [G2532](#) [G1473](#) [G5118](#) [G2192](#) [G4029](#) [G1473](#) [G3509](#)
- μαρτύρων, ὄγκον ἀποθέμενοι πάντα, καὶ τὴν εὐπερίστατον ἀμαρτίαν, δι'  
証人たちを 重荷を 脱ぎ-捨てて すべての そして その まとわりつく 罪を ~をもって  
[G3144](#) [G3591](#) [G0659](#) [G3956](#) [G2532](#) [G3588](#) [G2139](#) [G0266](#) [G1223](#)
- ὑπομονῆς τρέχωμεν τὸν προκειμένον ἡμῖν ἀγῶνα,  
忍耐をもって 走ろう その 備えられた 私たちに 競走を  
[G5281](#) [G5143](#) [G3588](#) [G4295](#) [G1473](#) [G0073](#)

| こういうわけで、わたしたちは、このような多くの証人に雲のように囲まれているのであるから、いっさいの重荷と、からみつく罪とをかなぐり捨てて、わたしたちの参加すべき競走を、耐え忍んで走りぬこうではないか。

- 2 ἀφορῶντες εἰς τὸν τῆς πίστεως ἀρχηγὸν καὶ τελειωτὴν, Ἰησοῦν:  
見つめて ~の方を その その 信仰の 創始者であり そして 完成者である イエスを  
[G0872](#) [G1519](#) [G3588](#) [G3588](#) [G4102](#) [G0747](#) [G2532](#) [G5051](#) [G2424](#)
- ὃς ἀντὶ τῆς προκειμένης αὐτῷ χαρᾶς, ὑπέμεινεν σταυρὸν,  
その-方は ~の代わりに その 置かれた 彼に 喜びの 耐え-忍ばれた 十字架を  
[G3739](#) [G0473](#) [G3588](#) [G4295](#) [G0846](#) [G5479](#) [G5278](#) [G4716](#)
- αἰσχύνης καταφρονήσας, ἐν δεξιᾷ τε τοῦ θρόνου τοῦ Θεοῦ, κεκάθικεν.  
恥を 蔑まれて ~に 右に また その 御座の その 神の 座られた  
[G0152](#) [G2706](#) [G1722](#) [G1188](#) [G5037](#) [G3588](#) [G2362](#) [G3588](#) [G2316](#) [G2523](#)

| 信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つめ、走ろうではないか。彼は、自分の前におかれている喜びのゆえに、恥をもいとわないで十字架を忍び、神の御座の右に座するに至ったのである。

- 3 ἀναλογίσασθε γὰρ, τὸν τοιαύτην ὑπομεμενηκότα ὑπὸ τῶν  
思い-巡らしなさい なぜなら その このような 耐え-忍ばれた-方を ~からの その  
[G0357](#) [G1063](#) [G3588](#) [G5108](#) [G5278](#) [G5259](#) [G3588](#)
- ἀμαρτωλῶν εἰς ἑαυτὸν ἀντιλογίαν, ἵνα μὴ κάμητε, ταῖς  
罪人たちからの ~に対する 自分に対する 反対を ~のために ~しない 疲れ-果てない その  
[G0268](#) [G1519](#) [G1438](#) [G0485](#) [G2443](#) [G3361](#) [G2577](#) [G3588](#)
- ψυχαῖς ὑμῶν ἐκλυόμενοι.  
魂において あなたがたの 弱らないで  
[G5590](#) [G4771](#) [G1590](#)

| あなたがたは、弱り果てて意気そそうしないために、罪人らのこのような反抗を耐え忍んだかたのことを、思いみるべきである。

- 4 Οὐπω μέχρις αἵματος ἀντικατέστητε, πρὸς τὴν ἀμαρτίαν ἀνταγωνιζόμενοι,  
まだ-ない ~まで 血まで 抵抗したことは ~に対して その 罪に対して 戦って  
[G3768](#) [G3360](#) [G0129](#) [G0478](#) [G4314](#) [G3588](#) [G0266](#) [G0464](#)

| あなたがたは、罪と取り組んで戦う時、まだ血を流すほどの抵抗をしたことがない。

5 καὶ ἐκλέλησθε τῆς παρακλήσεως, ἥτις ὑμῖν, ὡς υἱοῖς,  
 そして 忘れている その 勧めを それは あなたがたに ちょうど 息子たちに-対して  
[G2532](#) [G1585](#) [G3588](#) [G3874](#) [G3748](#) [G4771](#) [G5613](#) [G5207](#)

διαλέγεται: Υἱέ μου, μὴ ὀλιγώρει παιδείας Κυρίου, μηδὲ ἐκλύου,  
 語りかける わが-子よ 私の ~するな 軽んじるな 誓いを 主の また-ない 弱るな  
[G1256](#) [G5207](#) [G1473](#) [G3361](#) [G3643](#) [G3809](#) [G2962](#) [G3366](#) [G1590](#)

ὕπ' αὐτοῦ ἐλεγχόμενος;  
 ~によって 彼に 戸しめられても  
[G5259](#) [G0846](#) [G1651](#)

また子たちに対するように、あなたがたに語られたこの勧めの言葉を忘れている、「わたしの子よ、主の訓練を軽んじてはいけない。主に責められるとき、弱り果ててはならない。

6 ὃν γὰρ ἀγαπᾷ Κύριος, παιδεύει; μαστιγοῖ δὲ πάντα υἱὸν ὃν  
 その-者を なぜなら 愛する 主は 憚らしめる 鷹打たれる さて すべての 息子を それを  
[G3739](#) [G1063](#) [G0025](#) [G2962](#) [G3811](#) [G3146](#) [G1161](#) [G3956](#) [G5207](#) [G3739](#)

παραδέχεται.  
 受け-入れる  
[G3858](#)

主は愛する者を訓練し、受け入れるすべての子を、むち打たれるのである」。

7 εἰς παιδείαν ὑπομένετε, ὡς υἱοῖς ὑμῖν  
 ~のために 誓いのために 耐え-忍びなさい ちょうど 息子たちに-対して あなたがたに  
[G1519](#) [G3809](#) [G5278](#) [G5613](#) [G5207](#) [G4771](#)

προσφέρεται ὁ Θεός; τίς γὰρ υἱὸς ὃν οὐ παιδεύει πατήρ;  
 接しておられる その 神は どの なぜなら 息子を それを ~ない 憚らしめない 父が  
[G4374](#) [G3588](#) [G2316](#) [G5101](#) [G1063](#) [G5207](#) [G3739](#) [G3756](#) [G3811](#) [G3962](#)

あなたがたは訓練として耐え忍びなさい。神はあなたがたを、子として取り扱っておられるのである。いったい、父に訓練されない子があるだろうか。

8 εἰ δὲ χωρὶς ἐστε παιδείας, ἥς μέτοχοι γεγόνασιν πάντες,  
 もし しかし ~なしに あるなら 誓いなしに それの 受けている なっている 皆が  
[G1487](#) [G1161](#) [G5565](#) [G1510](#) [G3809](#) [G3739](#) [G3353](#) [G1096](#) [G3956](#)

ἄρα νόθοι καὶ οὐχ υἱοὶ ἐστε.  
 それなら 私生児であり そして ~でない 息子では ない  
[G0686](#) [G3541](#) [G2532](#) [G3756](#) [G5207](#) [G1510](#)

だれでも受ける訓練が、あなたがたと与えられないとすれば、それこそ、あなたがたは私生子であって、ほんとうの子ではない。

9 εἶτα τοὺς μὲν τῆς σαρκὸς ἡμῶν πατέρας εἶχομεν παιδευτὰς,  
 さらに その 一方では その 肉体の 私たちの 父たちを 持っていた 憚らしめる-者として  
[G1534](#) [G3588](#) [G3303](#) [G3588](#) [G4561](#) [G1473](#) [G3962](#) [G2192](#) [G3810](#)

καὶ ἐνετρεπόμεθα; οὐ πολὺ [δὲ] μᾶλλον, ὑποταγησόμεθα τῷ  
 そして 敬った ~でない はるかに-まして さて まして 従うべきではないか その  
[G2532](#) [G1788](#) [G3756](#) [G4183](#) [G1161](#) [G3123](#) [G5293](#) [G3588](#)

Πατρὶ τῶν πνευμάτων, καὶ ζήσομεν?  
 父に その 霊の そして 生きるであろうか  
[G3962](#) [G3588](#) [G4151](#) [G2532](#) [G2198](#)

その上、肉親の父はわたしたちを訓練するのに、なお彼をうやまうとすれば、なおさら、わたしたちは、たましいの父に服従して、真に生きるべきではないか。

- 10 οί μὲν γὰρ πρὸς ὀλίγας ἡμέρας, κατὰ τὸ δοκοῦν  
 その 一方では なぜなら ~のために わずかな 日々の ~に従って その 良いと-思う  
[G3588](#) [G3303](#) [G1063](#) [G4314](#) [G3641](#) [G2250](#) [G2596](#) [G3588](#) [G1380](#)
- αὐτοῖς, ἐπαίδευον; ὁ δὲ ἐπὶ τὸ συμφέρον, εἰς τὸ  
 彼らに 懐かしめた この-方は しかし ~のために その 益のために ~のために その  
[G0846](#) [G3811](#) [G3588](#) [G1161](#) [G1909](#) [G3588](#) [G4851](#) [G1519](#) [G3588](#)
- μεταλαβεῖν τῆς ἀγιότητος αὐτοῦ.  
 与るために その 聖さに 彼の  
[G3335](#) [G3588](#) [G0041](#) [G0846](#)

肉親の父は、しばらくの間、自分の考えに従って訓練を与えるが、たましいの父は、わたしたちの益のため、そのきよさにあずからせるために、そうされるのである。

- 11 πᾶσα. δὲ παιδεία, πρὸς μὲν τὸ παρὸν, οὐ δοκεῖ χαρᾶς  
 すべての さて 誓いは ~のためには 一方では その 現在は ~でない 思われぬ 喜びの  
[G3956](#) [G1161](#) [G3809](#) [G4314](#) [G3303](#) [G3588](#) [G3918](#) [G3756](#) [G1380](#) [G5479](#)
- εἶναι, ἀλλὰ λύπης; ὕστερον δὲ, καρπὸν εἰρηνικὸν, τοῖς δι'  
 あるとは そうでなく 悲しみの 後に しかし 実を 平和な その それに-よって  
[G1510](#) [G0235](#) [G3077](#) [G5305](#) [G1161](#) [G2590](#) [G1516](#) [G3588](#) [G1223](#)
- αὐτῆς γεγυμνασμένοις, ἀποδίδωσιν δικαιοσύνης.  
 それに 訓練された-者に 与える 義の  
[G0846](#) [G1128](#) [G0591](#) [G1343](#)

すべての訓練は、当座は、喜ばしいものとは思われず、むしろ悲しいものと思われる。しかし後になれば、それによって鍛えられる者に、平安な義の実を結ばせるようになる。

- 12 Διὸ τὰς παρειμένας χεῖρας, καὶ τὰ παραλελυμένα γόνατα,  
 それゆえ その 垂れ-下がった 手と そして その 弱った 膝を  
[G1352](#) [G3588](#) [G3935](#) [G5495](#) [G2532](#) [G3588](#) [G3886](#) [G1119](#)
- ἀνορθώσατε;  
 まっすぐに-しなさい  
[G0461](#)

それだから、あなたがたのなえた手と、弱くなっているひざとを、まっすぐにしなさい。

- 13 καὶ τροχιάς ὀρθὰς ποιεῖτε τοῖς ποσίν ὑμῶν, ἵνα μὴ  
 そして 道を まっすぐな 造りなさい その 足の-ために あなたがたの ~のために ~しない  
[G2532](#) [G5163](#) [G3717](#) [G4160](#) [G3588](#) [G4228](#) [G4771](#) [G2443](#) [G3361](#)
- τὸ χωλὸν ἐκτραπῆ; ἰαθῆ δὲ μᾶλλον.  
 その 足の-不自由な-者が それないように いやされるように むしろ むしろ  
[G3588](#) [G5560](#) [G1624](#) [G2390](#) [G1161](#) [G3123](#)

また、足のなえている者が踏みはずすことなく、むしろいやされるように、あなたがたの足のために、まっすぐな道をつくりなさい。

- 14 Εἰρήνην διώκετε μετὰ πάντων, καὶ τὸν ἁγιασμόν, οὗ  
 平和を 追い-求めなさい ~とともに すべての-人と そして その 聖めを それ  
[G1515](#) [G1377](#) [G3326](#) [G3956](#) [G2532](#) [G3588](#) [G0038](#) [G3739](#)
- χωρὶς, οὐδεὶς ὄψεται τὸν Κύριον;  
 ~なしには 誰も 見ない その 主を  
[G5565](#) [G3762](#) [G3708](#) [G3588](#) [G2962](#)

すべての人と相和し、また、自らきよくなるように努めなさい。きよくならなければ、だれも主を見ることはできない。

15 ἐπισκοποῦντες, μή τις ὑστερῶν ἀπὸ τῆς χάριτος τοῦ Θεοῦ;  
見張って ~しないように 誰も 欠けている-者が ~から その 恵みから その 神の  
[G1983](#) [G3361](#) [G5100](#) [G5302](#) [G0575](#) [G3588](#) [G5485](#) [G3588](#) [G2316](#)

μή τις ῥίζα πικρίας ἄνω φύουσα ἐνοχλῆ, καὶ δι'  
~しないように 何か 根が 苦い-根が 上に 生えて 悩まさないように そして それに-よって  
[G3361](#) [G5100](#) [G4491](#) [G4088](#) [G0507](#) [G5453](#) [G1776](#) [G2532](#) [G1223](#)

αὐτῆς μianθῶσιν οἷοὶ πολλοί;  
それに 汚されないように その 多くの-者が  
[G0846](#) [G3392](#) [G3588](#) [G4183](#)

気をつけて、神の恵みからもれることがないように、また、苦い根がはえて、あなたがたを悩まし、それによって多くの人が汚されることのないようにしなさい。

16 μή τις πόρνος ἢ βέβηλος, ὡς Ἡσαῦ, ὃς  
~しないように 誰も 淫らな-者や または 俗な-者に ちょうど エサウのように その-者は  
[G3361](#) [G5100](#) [G4205](#) [G2228](#) [G0952](#) [G5613](#) [G2269](#) [G3739](#)

ἀντὶ βρώσεως μιᾶς, ἀπέδετο τὰ πρωτοτόκια ἑαυτοῦ.  
~の代わりに 食事の-代わりに 一度の 売った その 長子の-権を 自分の  
[G0473](#) [G1035](#) [G1520](#) [G0591](#) [G3588](#) [G4415](#) [G1438](#)

また、一杯の食のために長子の権利を売ったエサウのように、不品行な俗悪な者にならないようにしなさい。

17 ἵστε γὰρ ὅτι καὶ μετέπειτα, θέλων κληρονομησαὶ τὴν εὐλογίαν,  
知っている なぜなら ~と また その-後に 望んで 相続することを その 祝福を  
[G1492](#) [G1063](#) [G3754](#) [G2532](#) [G3347](#) [G2309](#) [G2816](#) [G3588](#) [G2129](#)

ἀπεδοκιμάσθη; μετανοίας γὰρ τόπον οὐχ εὔρεν, καίπερ μετὰ  
拒まれた 悔改めの なぜなら 場所を ~なかった 見いだせなかった たとえ ~をもって  
[G0593](#) [G3341](#) [G1063](#) [G5117](#) [G3756](#) [G2147](#) [G2539](#) [G3326](#)

δακρύων ἐκζητήσας αὐτήν.  
涙をもって 求めたのに それを  
[G1144](#) [G1567](#) [G0846](#)

あなたがたの知っているように、彼はその後、祝福を受け継ごうと願ったけれども、捨てられてしまい、涙を流してそれを求めたが、悔改めの機会を得なかったのである。

18 Οὐ γὰρ προσεληλύθατε, ψηλαφωμένῳ καὶ κεκαυμένῳ πυρὶ, καὶ  
~でない なぜなら 近づいていない 触れることのできる そして 燃えている 火に そして  
[G3756](#) [G1063](#) [G4334](#) [G5584](#) [G2532](#) [G2545](#) [G4442](#) [G2532](#)

γνόφῳ, καὶ ζόφῳ, καὶ θεύλλῃ,  
暗黒に そして 闇に そして 暴風に  
[G1105](#) [G2532](#) [G2217](#) [G2532](#) [G2366](#)

あなたがたが近づいているのは、手で触れることができ、火が燃え、黒雲や暗やみやあらしにつつまれ、

19 καὶ σάλπιγγος ἤχῳ, καὶ φωνῆ ῥημάτων; ἥς οἱ ἀκούσαντες,  
そして ラッパの 音に そして 声に 言葉の それの その 聞いた-者たちは  
[G2532](#) [G4536](#) [G2279](#) [G2532](#) [G5456](#) [G4487](#) [G3739](#) [G3588](#) [G0191](#)

παρητήσαντο, μή προστεθῆναι αὐτοῖς λόγον;  
断った ~しないでと 加えられないでと 自分たちに 言葉が  
[G3868](#) [G3361](#) [G4369](#) [G0846](#) [G3056](#)

また、ラッパの響や、聞いた者たちがそれ以上、耳にしたくないと願ったような言葉がひびいてきた山ではない。

20 οὐκ ἔφερον γὰρ τὸ διαστελλόμενον: Ἄν θηρίον θίγη  
~なかった 耐えられなかった なぜなら その 命じられたことを たとえ 獣が 触れても  
[G3756](#) [G5342](#) [G1063](#) [G3588](#) [G1291](#) [G2579](#) [G2342](#) [G2345](#)

τοῦ ὄρους, λιθοβοληθήσεται;  
その 山に 石で-打たれる  
[G3588](#) [G3735](#) [G3036](#)

そこでは、彼らは、「けものである、山に触たら、石で打ち殺されてしまえ」という命令の言葉に、耐えることができなかつたのである。

21 καί, οὕτω φοβερὸν ἦν τὸ φανταζόμενον Μωϋσῆς εἶπεν,  
そして これほど 恐ろしかった それは その 光景が モーセも 言った  
[G2532](#) [G3779](#) [G5398](#) [G1510](#) [G3588](#) [G5324](#) [G3475](#) [G3004](#)

Ἐκφοβός εἰμι, καὶ ἔντρομος.  
非常に-恐れている 私は-ある そして 震えていると  
[G1630](#) [G1510](#) [G2532](#) [G1790](#)

その光景が恐ろしかったのでモーセさえも、「わたしは恐ろしさのあまり、おののいている」と言ったほどである。

22 ἀλλὰ προσελθύθατε Σιών ὄρει; καὶ πόλει Θεοῦ ζώντος, Ἰερουσαλήμ  
そうでなく 近づいている シオンの 山に そして 都に 神の 生ける エルサレム-天の  
[G0235](#) [G4334](#) [G4622](#) [G3735](#) [G2532](#) [G4172](#) [G2316](#) [G2198](#) [G2419](#)

ἐπουρανίω; καὶ μυριάσιν ἀγγέλων,  
天の そして 幾万の 御使いたちに  
[G2032](#) [G2532](#) [G3461](#) [G0032](#)

しかしあなたがたが近づいているのは、シオンの山、生ける神の都、天にあるエルサレム、無数の天使の祝会、

23 πανηγύρει; καὶ ἐκκλησίᾳ πρωτοτόκων, ἀπογεγραμμένων ἐν οὐρανοῖς; καὶ  
祝典に そして 集会に 長子たちの 登録された ~の中に 天に そして  
[G3831](#) [G2532](#) [G1577](#) [G4416](#) [G0583](#) [G1722](#) [G3772](#) [G2532](#)

Κριτῆ Θεῷ πάντων; καὶ πνεύμασι δικαίων τετελειωμένων;  
裁き-主である 神に すべての-者の そして 霊に 義なる-者たちの 完全にされた  
[G2923](#) [G2316](#) [G3956](#) [G2532](#) [G4151](#) [G1342](#) [G5048](#)

天に登録されている長子たちの教会、万民の審判者なる神、全うされた義人の霊、

24 καὶ διαθήκης νέας μεσίτη, Ἰησοῦ; καὶ αἵματι ῥαντισμοῦ,  
そして 契約の 新しい 仲介者である イエスに そして 血に 注ぎかけの  
[G2532](#) [G1242](#) [G3501](#) [G3316](#) [G2424](#) [G2532](#) [G0129](#) [G4473](#)

κρεῖττον λαλοῦντι παρὰ τὸν Ἄβελ.  
より-すぐれたことを 語っている ~よりも その アベルよりも  
[G2909](#) [G2980](#) [G3844](#) [G3588](#) [G0006](#)

新しい契約の仲保者イエス、ならびに、アベルの血よりも力強く語るそそがれた血である。

25 Βλέπετε μὴ παραιτήσησθε τὸν λαλοῦντα. εἰ γὰρ  
 気をつけなさい ~しないで 拒まないで その 語っておられる-方を もし なぜなら  
[G0991](#) [G3361](#) [G3868](#) [G3588](#) [G2980](#) [G1487](#) [G1063](#)

ἐκεῖνοι οὐκ ἐξέφυγον, ἐπὶ γῆς παραιτησάμενοι τὸν  
 あのと-者たちが ~なかった 逃れなかったのに ~の上で 地上で 拒んだ-者が その  
[G1565](#) [G3756](#) [G1628](#) [G1909](#) [G1093](#) [G3868](#) [G3588](#)

χρηματίζοντα, πολὺ μᾶλλον ἡμεῖς οἱ τὸν ἀπ' οὐρανῶν  
 警告する-方を はるかに-まして まして 私たちは その その ~から 天から  
[G5537](#) [G4183](#) [G3123](#) [G1473](#) [G3588](#) [G3588](#) [G0575](#) [G3772](#)

ἀποστρεφόμενοι,  
 背く-者は  
[G0654](#)

あなたがたは、語っておられるかたを拒むことがないように、注意しなさい。もし地上で御旨を告げた者を拒んだ人々が、罰をのがれることができなかったなら、天から告げ示すかたを退けるわたしたちは、なおさらそうなるのではないか。

26 οἷ ἡ φωνὴ τὴν γῆν ἐσάλειψεν τότε; νῦν δὲ ἐπήγγελται,  
 その-方の その 声は その 地を 揺るがした その-とき 今 しかし 約束された  
[G3739](#) [G3588](#) [G5456](#) [G3588](#) [G1093](#) [G4531](#) [G5119](#) [G3568](#) [G1161](#) [G1861](#)

λέγων, Ἔτι ἅπαξ ἐγὼ σεῖσω οὐ μόνον τὴν γῆν, ἀλλὰ  
 言って もう-一度 一度 私は 揺るがす ~だけでなく だけでなく その 地を そうでなく  
[G3004](#) [G2089](#) [G0530](#) [G1473](#) [G4579](#) [G3756](#) [G3440](#) [G3588](#) [G1093](#) [G0235](#)

καὶ τὸν οὐρανόν.  
 また その 天をも  
[G2532](#) [G3588](#) [G3772](#)

あの時には、御声が地を震わせた。しかし今は、約束して言われた、「わたしはもう一度、地ばかりでなく天をも震わそう」。

27 τὸ δὲ Ἔτι ἅπαξ, δηλοῖ τὴν τῶν σαλευομένων μετάθεσιν,  
 その さて もう-一度という 一度 示している その その 揺るがされる-ものの 移し-去りを  
[G3588](#) [G1161](#) [G2089](#) [G0530](#) [G1213](#) [G3588](#) [G3588](#) [G4531](#) [G3331](#)

ὡς πεποιημένων, ἵνα μείνη τὰ μὴ σαλευόμενα.  
 ちょうど 造られた-ものとして ~のために 残るために その ~ない 揺るがされない-ものが  
[G5613](#) [G4160](#) [G2443](#) [G3306](#) [G3588](#) [G3361](#) [G4531](#)

この「もう一度」という言葉は、震われないものが残るために、震われるものが、造られたものとして取り除かれることを示している。

28 Διὸ βασιλείαν ἀσάλευτον παραλαμβάνοντες, ἔχωμεν χάριν, δι'  
 それゆえ 御国を 揺るがない 受けているので 感謝を-持とう 感謝を それに-よって  
[G1352](#) [G0932](#) [G0761](#) [G3880](#) [G2192](#) [G5485](#) [G1223](#)

ἧς λατρεύωμεν εὐαρέστως τῷ Θεῷ, μετὰ εὐλαβείας καὶ  
 それに 仕えよう 喜ばれるように その 神に ~をもって 畏れをもって そして  
[G3739](#) [G3000](#) [G2102](#) [G3588](#) [G2316](#) [G3326](#) [G2124](#) [G2532](#)

δέους.  
 おそれをもって  
[G1169](#)

このように、わたしたちは震われない国を受けているのだから、感謝をしようではないか。そして感謝しつつ、恐れかしくこみ、神に喜ばれるように、仕えていこう。

29 καὶ γὰρ ὁ Θεὸς ἡμῶν πῦρ καταναλίσκον.  
また なぜなら 私たちの 神は 私たちの 焼き-尽くす 火である  
[G2532](#) [G1063](#) [G3588](#) [G2316](#) [G1473](#) [G4442](#) [G2654](#)

わたしたちの神は、実に、焼きつくす火である。